

令和4年度予算政府案決定等について

(知事コメント)

令和4年度予算案が、令和3年度補正予算と合わせて、新型コロナウイルス対策に万全を期しつつ、2050 カーボンニュートラルの実現やデジタル社会の形成などを目指す成長戦略と、賃上げや多様な人材の活躍などを目指す分配戦略とを両輪とし、ポストコロナの未来を切り拓くものとして編成されました。本県が来年度重点的に取り組むこととしている脱炭素社会の構築やDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、公正な社会づくりなどを進めていくに当たり追い風となる予算であると受け止めています。

一方、地方財政対策については、一般財源総額について、水準超経費を除く交付団体ベースで今年度を上回る額を確保した上で、臨時財政対策債を大幅に抑制するなど、長野県の求めてきた方向性に即したものであり、歓迎するところです。

なお、公債依存度が引き続き高い水準となるなど、厳しい財政状況が続いています。今後は国・地方を通じた財政の健全化についても、地方の立場でしっかりと取り組んでまいります。